

R4 ライフステージ（すがだいら保育園）_やまほいく事業【まとめ】

1 事業概要

- (1)日時 令和4年10月27日(木) 午前9時から11時40分まで
- (2)場所 すがだいら保育園、菅平野外炊飯場
「菅平野外炊飯場」は菅平地域の野外活動のためのフィールド
- (3)参加人数 園児20名、引率(園長及び保育士)4名、事務局2名
- (4)講師 NPO法人やまぼうし自然学校3名(金井副代表、保母事務局長、笠原理事)
- (5)ねらい 友達と一緒に、野山での自然遊び体験を楽しむ。
- (6)日程 9:00 全体会⇒9:05 園出発⇒9:35 野外炊飯場へ到着
11:10 森を出発⇒11:40 園着

2 実施内容:【すがだいら保育園(信州型自然保育認定園)での自然保育(体験活動)】

9:00 園庭での説明(注意事項など)

- ・出発前に園長先生から、「やまぼうし自然学校」の指導者(以下「やまぼうし自然学校の指導者」)の3人を紹介。
何度か指導いただいているので覚えている園児もいる。
- ・移動の際の注意事項について説明後、出発

9:35~11:40

- ・30分ほど道路わきの歩道を歩いて移動
- ①「野外炊飯場」入口に到着し、周辺でアイスブレイク
- ② 動物の痕跡(イノシシの掘った跡、餌場、リスが食べた後の森のドングリの笠、草の上の鹿のフン)を示しながら「やまぼうし自然学校の指導者」から説明
- ③じゃんけんゲーム、動物狩りゲーム、ハンカチを使ったアイスブレイクで、からだをほぐし、「輪になって全員で持った1本のロープをどれだけ早く回せるか」というゲームでは、心を合わせることの体験をした。



④ ネイチャーゲーム「森で宝探し」

- ・森の中では、事前に「やまぼうし自然学校の指導者」が木の枝や陰に隠した自然にはない、けん玉、毛糸、木のおもちゃ、うちわ、獅子舞の飾りなどの17個の工作物を、4・5人1組で探す「宝探しゲーム」
- ・グループごとに帽子の色を変える工夫は、子どもたちだけでなく指導者にも把握しやすい。



R4 ライフステージ（すがだいら保育園）_やまほいく事業【まとめ】

⑤ ネイチャーゲーム「森の宝探し」

- ・「野外炊飯場」へ戻りながら、森の中で、「顔の形に見える葉っぱ」、「大きな松ぼっくり」、「綿あめの香りのする葉っぱ」、「変わった形の枝」など、この森でしかない宝を探しながら移動
- ・休ませるため、ときどき「やまぼうし自然学校の指導者」から、森の宝物の解説があった。

⑥ 「野外炊飯場」から保育園へ

- ・移動中は列になり、安全に配慮しながら帰園
- ・「やまぼうし自然学校の指導者」からは、「ロープを使った遊び」や、「自然の中にある色々なものを探すこと」など、今後体験してほしいとの発言があり、園児たちもしっかり話を聞いていた。

3 その他安全管理等

- ・移動中は二人ずつ手なぎ、大きく列を乱すことなく、安全に移動していた。
- ・荷物は、あらかじめ「やまぼうし自然学校の指導者」が用意したブルーシートに置き、体験活動に支障がないよう工夫されていた。水分補給は適宜時間をとって行われた。
- ・年少から年長まで多くの友達と関わりながら、楽しそうに自然に親しむ体験ができていた。

4 総括(全体のまとめ)

- ・当日は、今年の最低気温。日陰には霜が残っていた。
- ・途中の歩道の両側には、収穫の終わった高原野菜畑が広がり、次のシーズンのために牛、馬、鶏糞が撒かれ、観光シーズンにはない、様々な匂いがしている。
- ・子どもたちにも、大切な作業、当たり前前の匂いとして理解されていると感じた。
- ・歩道の所々に、枯れ葉が積り、歩くたびにカサカサ鳴る。子どもたちはわざわざ鳴らしながら歩く。
- ・子どもたちにとって、この当たり前前の光、風、匂い、音全てが、この日の自然体験とともに「故郷の記憶」として残っていくのだと感じた。

